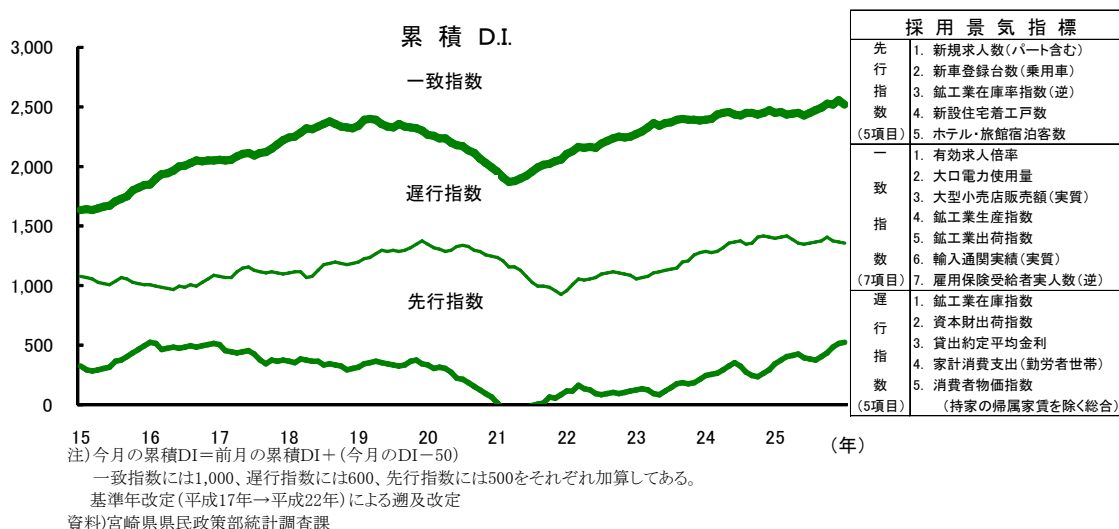


### 1. 景気動向指数

平成 26 年 1 月の景気動向一致指数は、有効求人倍率の 1 項目がプラスとなり、全体では 14.3%と 2 カ月ぶりに 50%を下回った（7 項目のうちプラス 1、マイナス 5）。

先行指数は、新規求人数（パート含む）、新車登録台数（乗用車）、鉱工業在庫率指数（逆）の 3 項目がプラスとなり、全体では 60.0%と 5 カ月連続で 50%を上回った（5 項目のうちプラス 3、マイナス 2）。

遅行指数は、家計消費支出（勤労者世帯）、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）の 2 項目がプラスとなり、全体では 40.0%と 3 カ月連続で 50%を下回った（5 項目のうちプラス 2、マイナス 3）。



景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を 3 カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したものである。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の 3 つがある。一致指数が数カ月連続して 50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

$$\text{景気動向指数} = (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} \times 0.5) \div (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} + \text{マイナス項目数}) \times 100(\%)$$

### 2. 鉱工業生産

1 月の鉱工業生産指数は、93.0 で前年同月比 4.4%増と 7 カ月連続で前年を上回った。

主要業種別にみると、電子部品・デバイス（前年同月比 5.1%増）、化学（同 16.0%増）、繊維（同 2.5%増）は前年を上回ったものの、食料品（同 0.1%減）は前年を下回った。

### 3. 建設関連

#### ① 公共工事

3 月の公共工事請負高は、135 億 2,400 万円で前年同月比 3.3%増と 2 カ月連続で前年を上回った。

発注者別にみると、国が同 61.8%増、県が同 2.0%減、市町村が同 59.2%減、その他（独立行政法人等）が同 7.2%減となった。

#### ② 着工建築物

2 月の着工建築物は、棟数が 549 棟で前年同月比 25.6%増、床面積は 95,935 m<sup>2</sup>で同 17.7%増となった。

内訳をみると、居住用は棟数同 34.7%増、床面積同 49.3%増となり、非居住用は棟数同 5.0%減、床面積同 18.3%減となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同 1.4%増、商業用同 10.4%減、サービス業用同 15.5%減となった。

### ③ 住宅着工

2月の新設住宅着工戸数は、610戸で前年同月比35.6%増と7カ月連続で前年を上回った。

利用関係別にみると、持家は同36.4%増、貸家は同15.0%減、分譲は同200.0%増（マンションは前年0戸→本年98戸、一戸建てが同44戸→34戸）となった。

## 4. 個人消費関連

### ① 大型小売店販売動向

2月の大型小売店販売額は、60億9,900万円で前年同月比2.9%減と2カ月連続で前年を下回った。

商品別では、衣料品は14億300万円で同5.5%減、飲食料品は27億200万円で同5.2%減、その他計は19億9,400万円で同2.4%増となった。

### ② 乗用車新車販売動向

3月の乗用車新車登録台数は、3,233台で前年同月比23.1%増と7カ月連続で前年を上回った。

車種別にみると、普通車は1,407台で同30.0%増、小型車は1,826台で同18.2%増となった。

## 5. 空港乗降客数

2月の宮崎空港乗降客数は、22万5,535人で前年同月比1.6%増と26カ月連続で前年を上回った。

乗客数は11万2,736人（前年11万856人）と増加し、降客数も11万2,799人（前年11万1,220人）と増加した。

## 6. 消費者物価指数

2月の宮崎市の消費者物価指数は、100.6で前年同月比1.1%上昇した。

これを費目別にみると、光熱・水道（前年同月比5.0%増）、諸雑費（同3.6%増）など7費目は上昇したものの、教養娯楽（同0.6%減）と住居（同0.4%減）など3費目は下落した。

## 7. 企業倒産

3月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は、7件で前年同月比250.0%増と2カ月連続で前年を上回った。負債総額は9億3,500万円で同2025.0%増と5カ月連続で前年を上回った。

業種別では、建設業3件、小売業1件、卸売業1件、サービス業1件、一次産業1件となっている。

## 8. 雇用情勢

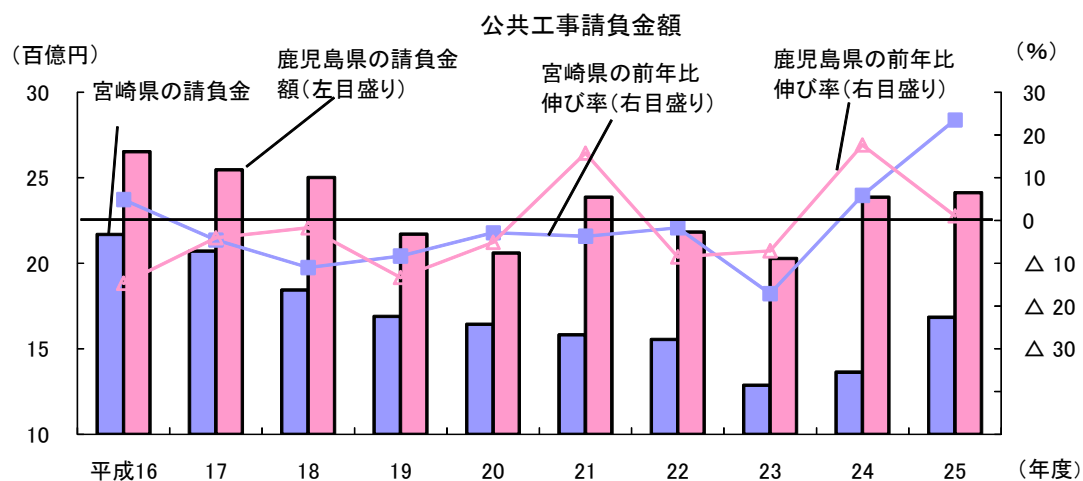
2月の有効求人倍率は、0.88倍で前月から0.03<sup>ポイント</sup>改善した。

新規求人数は、8,753人で前年同月比12.7%増となった。製造業（前年同月比42.0%増）、卸売・小売業（同16.0%増）、医療・福祉（同6.6%増）など14業種が増加となった一方で、不動産・物品賃貸業（同41.8%減）、金融・保険業（同34.5%減）など4業種が減少した。

雇用保険受給者数は、5,104人で同11.9%減と21カ月連続で減少した。

## 〈今月のトピックス〉～ 平成 25 年度の公共工事請負金額

西日本建設業保証㈱によると、平成 25 年度の宮崎県の公共工事請負金額は 1,685 億円（前年度比 23.6%増）と、2 年連続で増加した。発注者別にみると、国 467 億円（同 17.4%増）、宮崎県 520 億円（同 23.0%増）、市町村 509 億円（同 34.5%増）、独立行政法人その他 189 億円（同 15.2%増）となっている。



資料)西日本建設業保証(株)